UPOE、PoE+ 対応 21.5 型ワイド液晶ディスプレイ

LCD-AD221PEB

画面で見るマニュアル



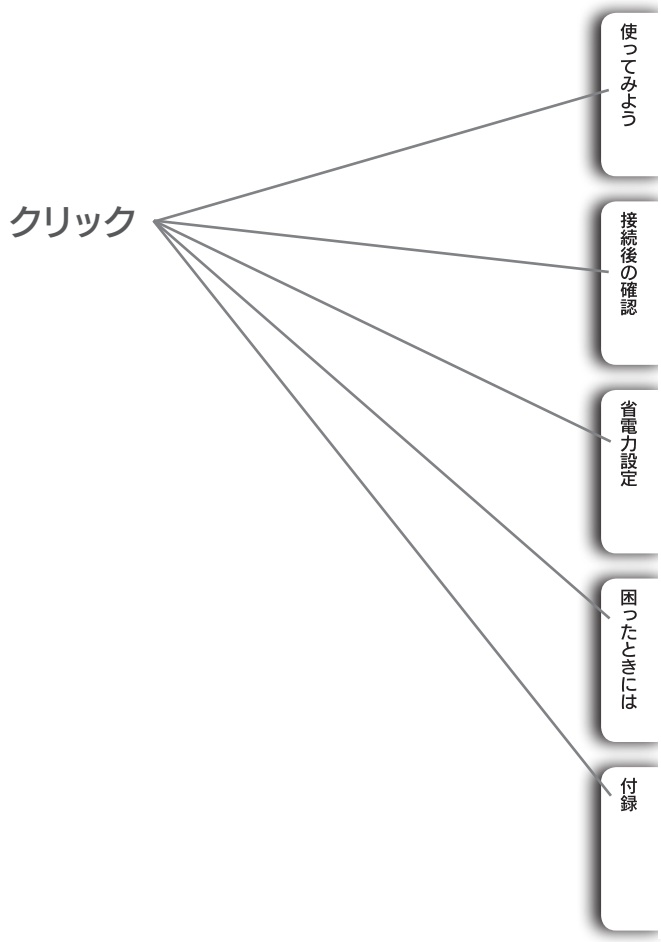
LCD-AD221PEB-PDF01

© I-O DATA DEVICE, INC.

はじめに

見出しについて

ページの端にある見出しをクリックすると、該当のページに移動できます。



マークの説明

注意

本製品を使う上での注意事項を記載しています

ヒント

本製品を使う上で知っておくと便利な情報を記載しています

目次

使ってみよう 4

設定メニューについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
ボタンの操作・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
メインメニュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
ダイレクト設定メニュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
台座を取り外す・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
VESA アームなどを取り付ける ・・・・・・・・・・・・・・15

接続後の確認 18

省電力設定 22

パソコンの設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
VESA DPM 対応のディスプレイ省電力の流れ ・・・・・・・24

困ったときには 25

付録 26

ハードウェア仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
ソフトウェアのダウンロード・・・・・・・・・・・・・・・・28
用語解説・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29

使ってみよう

「設定メニューについて」、「台座を取り外す」、「VESA アームなどを取り付ける」について説明します。

各部の名称やパソコンとの接続方法については、添付の取扱説明書に記載しています。
本製品は給電機器※1 と LAN ケーブル※2 で接続する必要があります。詳しくは、添付の取扱説明書をご覧ください。
※ 1 : UPOE または PoE+ (IEEE802.3at) 対応機器が別途必要です。
※ 2 : カテゴリ 5e 以上の LAN ケーブルが別途必要です。

●設定メニューについて (5 ページ)

●台座を取り外す (13 ページ)

● VESA アームなどを取り付ける (15 ページ)

ヒント

良くある症状を解決！

●「ゆらぎ」や「ちらつき」が見えるときは（25 ページ）
●文字がにじんで見えるときは（25 ページ）

注意

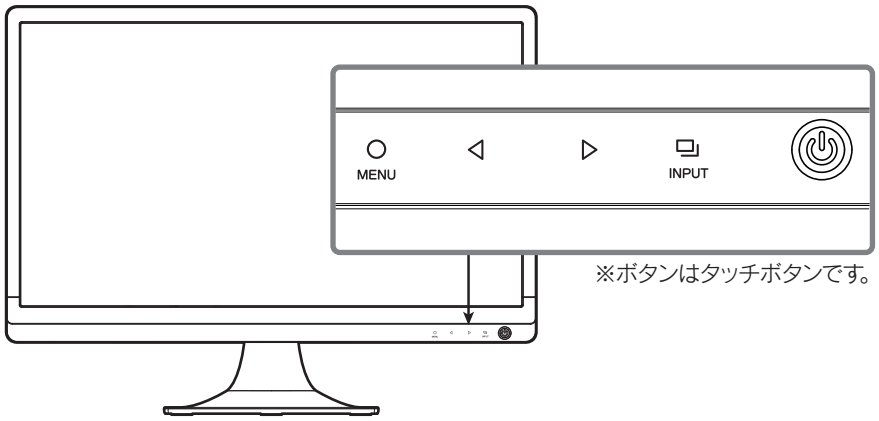
LED の紫点灯について

UPOE、PoE+ の認証中は LED が紫点灯します。
紫点灯時は、本製品への供給電力が低いため、輝度が制限されます。

設定メニューについて

ボタンの操作

設定メニューは本体背面にあるボタンを押して、操作します。



※ボタンはタッチボタンです。

ボタン	機能（メインメニュー非表示時）	機能（メインメニュー表示時）
○ MENU	○メインメニューを表示する ○長押し（3 秒）でメインメニューをロック / ロック解除する	一つ前の設定 / 調整画面に戻る （前の画面がないときは、メニュー画面を閉じる）
◁	ダイレクト設定メニューを表示する	○項目を選択する ○メニューの設定値を調整 / 選択する
▷	ダイレクト設定メニューを表示する	○項目を選択する ○メニューの設定値を調整 / 選択する
INPUT	○入力を切り替える ○アナログ信号入力時、長押し（3 秒程度）でメニューの［手動調整］の各項目を自動で一括調整する	○メニュー項目、サブメニュー項目の設定 / 調整値を決定する ○サブメニュー項目を選択する （ダイレクト設定メニュー表示時、およびユーザー色温度設定時）
⏻	電源をオン / オフする	電源をオン / オフする

設定メニューについて（つづき）

メインメニューを表示する

MENU を押すと、メインメニューが表示されます。



＜操作方法＞

1. ◁ ▷ で項目を選びます
2. INPUT でメインメニュー項目を選択します
3. ◁ ▷ で設定項目を選び、INPUT で決定します
4. 設定項目により ◁ ▷ で値を変更し、INPUT で決定します

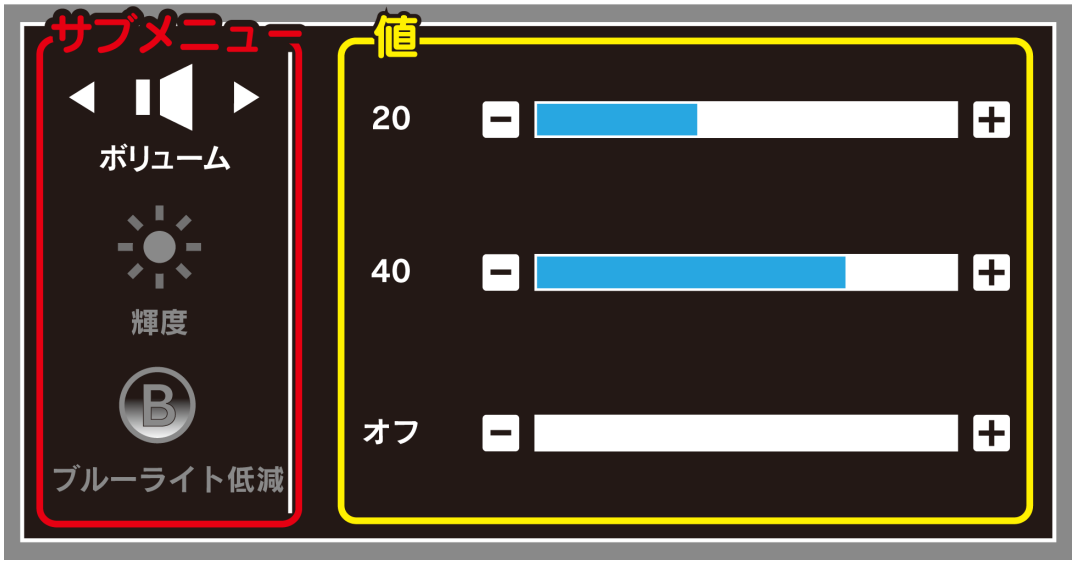
ヒント

1 つ前の項目に戻る

製品本体の MENU で 1 つ前の項目に戻れます。
設定後に他の項目を設定したい場合などにお使いください。

ダイレクト設定メニューを表示する

メインメニューが表示されてないときに、◁ ▷を押すと、ダイレクト設定メニューが表示されます。



＜操作方法＞

1. INPUT でサブメニュー項目を選びます
2. ◁ ▷ で値を変更します

設定メニューについて（つづき）

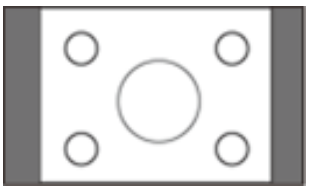
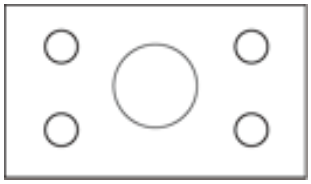
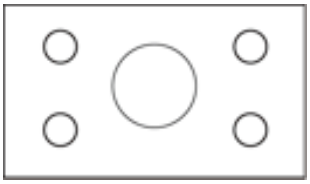
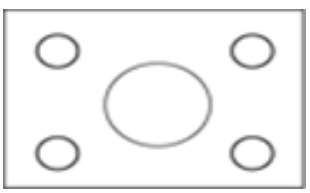
メインメニュー

アスペクト比



固定	入力信号の解像度のアスペクト比（縦と横の比率）を保持したまま、画面の縦または横いっぱいまで拡大します。
フル	画面いっぱいに表示します。入力信号のアスペクト比（縦と横の比率）は保持されない場合があります。
MAC	本製品の MAC アドレスを表示します。

＜画面表示例＞

アスペクト比	4：3、5：4	16：9	
解像度の例	640 × 480 1280 × 1024	1280 × 720	1920 × 1080
固定	 ※	 ※	
フル	 ※		

※最適な解像度（最大解像度）以外の場合、映像の拡大処理をするため、輪郭ににじみが生じます。

映像設定



ECO	[オン] にすると、以下の「輝度」が「ECO ステップ」に変わり、低減したい消費電力値にあわせて画面の明るさを調整できます。(出荷時 : オフ)
輝度	画面の輝度を調整します。(出荷時 : 40) ※ LED が紫色点灯時 (UPOE、PoE+ の認証中) は、調整できません。 ※「ECO」が [オフ] の場合のみ表示されます。 「ECO」が [オン] の場合は、「ECO ステップ」となります。 ECO ステップ : 画面の輝度を調整し、消費電力を押さえます。低減する消費電力の目安の値で設定します。
コントラスト	画面のコントラスト (明暗比) を調整します。(出荷時 : 0)
色温度	画面の色温度を設定します。 6500K/7200K/9300K/ ユーザーの各値に設定できます。 [ユーザー] では、赤 / 緑 / 青の各色を調整します。(出荷時 : 6500K) ※ダイレクト設定メニューの [ブルーライト低減] を [オフ] 以外に設定している場合、本項目は表示されません。

設定メニューについて（つづき）

メニュー設定



表示時間	メニュー画面の表示時間を設定します。（出荷時：5）
透過	メニュー画面の背景色を透過します。（出荷時：0）
画面情報	[オン] にすると、入力信号が変化したとき、画面右上に「入力信号」「解像度」「水平 / 垂直周波数」を表示します。（出荷時：オン）
言語	メニューの表示言語を、日本語 / 英語 から選べます。

その他



スムージング	本製品の最大表示解像度より低い解像度をパソコン側で設定した場合、画面がぼやけることがあります。その場合スムージング調整をおこないます。(出荷時：5) ※最大表示解像度でお使いの場合、本項目は表示されません。
自動電源オフ	自動電源オフが有効に設定されているときは、本製品への映像信号が止まったことを検出して、本製品の消費電力を最小限にします。(出荷時：切)

手動復帰	省電力モードから一定時間経過後、電源をオフにします。 (電源ボタンを押して復帰してください。)
自動復帰	省電力モードに入る際、節電状態にします。 (信号入力時に自動で復帰します。)
切	自動電源オフ無効

リセット	出荷時の設定に戻します。 ※[言語]と、[色温度]の[ユーザー]の設定は、元に戻りません。

設定メニューについて（つづき）

手動調整　※アナログ入力時のみ有効



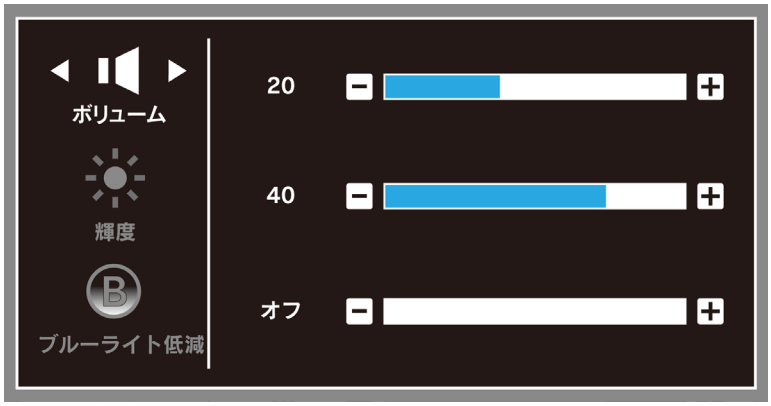
サイズ	ディスプレイ画面の水平幅を調整します。※垂直幅の調整はおこなえません。
微調整	画面ノイズを軽減し鮮明度を調整します。
水平位置	ディスプレイ画面の水平位置を調整します。
垂直位置	ディスプレイ画面の垂直位置を調整します。

ヒント

調整をより効果的におこなうには

「LCD 調整ユーティリティ」を使うと、調整用画面を表示でき、より効果的な設定が可能です。「LCD 調整ユーティリティ」のダウンロードについては、［ソフトウェアのダウンロード］（28 ページ）をご参照ください。

ダイレクト設定メニュー



ボリューム	本製品のスピーカーの音量を調整します。（出荷時：20）
輝度	画面の輝度を調整します。（出荷時：40） ※ LED が紫色点灯時（UPOE、PoE+ の認証中）は、調整できません。
ブルーライト低減	画面から出るブルーライトを低減する度合いを調整します。（出荷時：オフ） 値を大きくするほどブルーライトをより低減するため、画面全体が黄色がかって見えます。

台座を取り外す

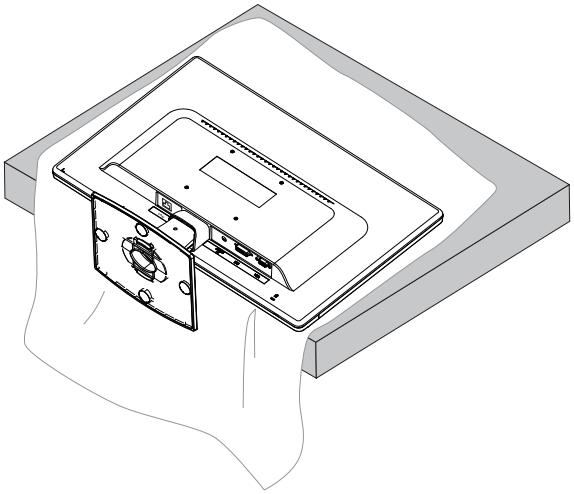
VESA アームを取り付けるときなど、台座を取り外すことができます。

注意

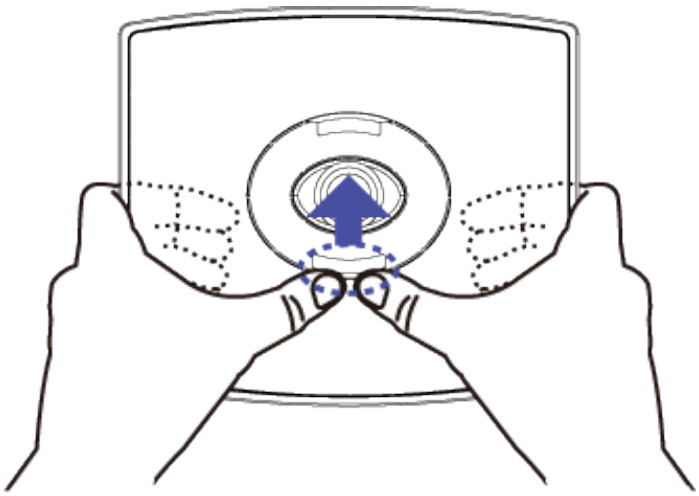
作業の際は以下にご注意ください

・手や指をはさまない
・液晶ディスプレイを床などに落としたり、パネルを傷つけたりしない
・ディスプレイ部（表示面）を手で強く押さえない
　液晶パネルが故障または破損する恐れがあります

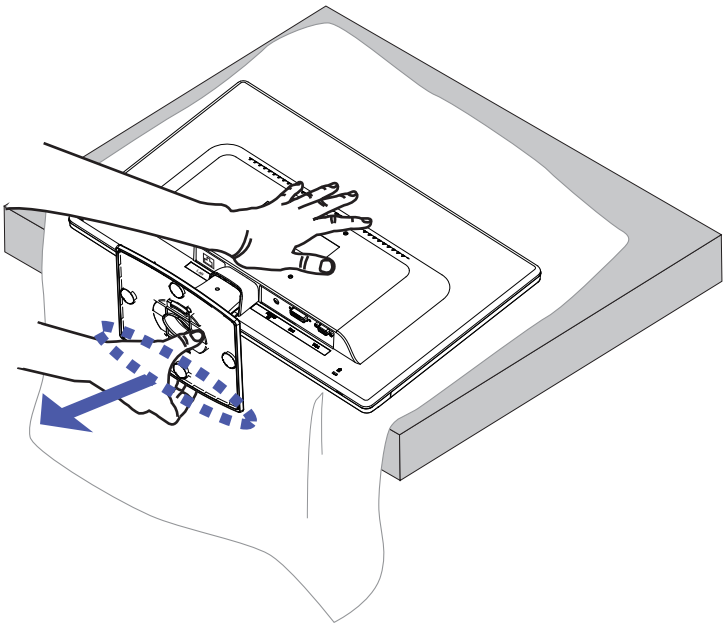
1 机などの平らなところに柔らかい布などを敷き、パネル面を下にして本製品を置きます



2 両手で台座をはさみ、両手の親指で上に押し込むようにして、下側のツメを外します



③ 台座を引いて、取り外します



以上で、台座の取り外しは完了です。

VESA アームなどを取り付ける

必要に応じて台座を取り外し、VESA 規格に準拠した市販のアームなどの固定器具を取り付けることができます。アームやアーム取り付け用ネジは別途ご用意ください。

注意

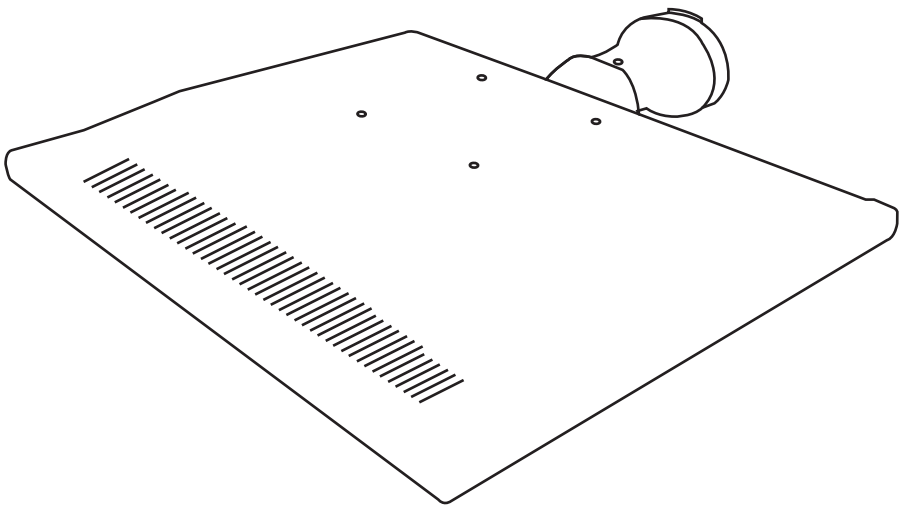
作業の際は以下にご注意ください

・手や指をはさまない
・液晶ディスプレイを床などに落としたり、パネルを傷つけたりしない
・ディスプレイ部（表示面）を手で強く押さえない
液晶パネルが故障または破損する恐れがあります

1 机などの平らなところに柔らかい布などを敷き、パネル面を下にして本製品を置きます

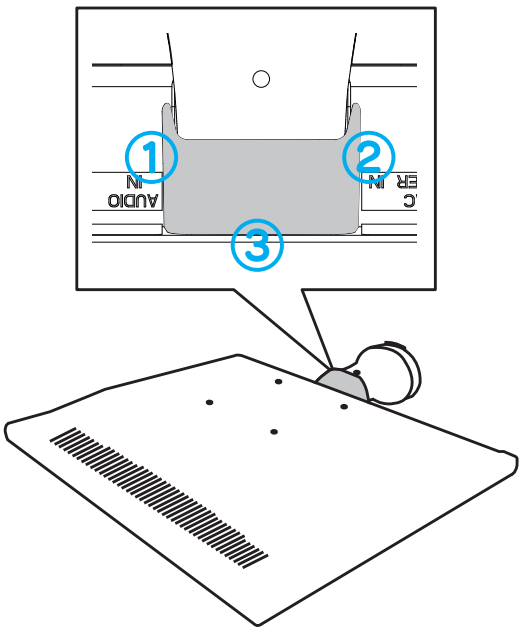
2 台座を取り外します（13 ページ）

3 本製品を、ネックが奥向きになるよう置きます



④ カバーを取り外します

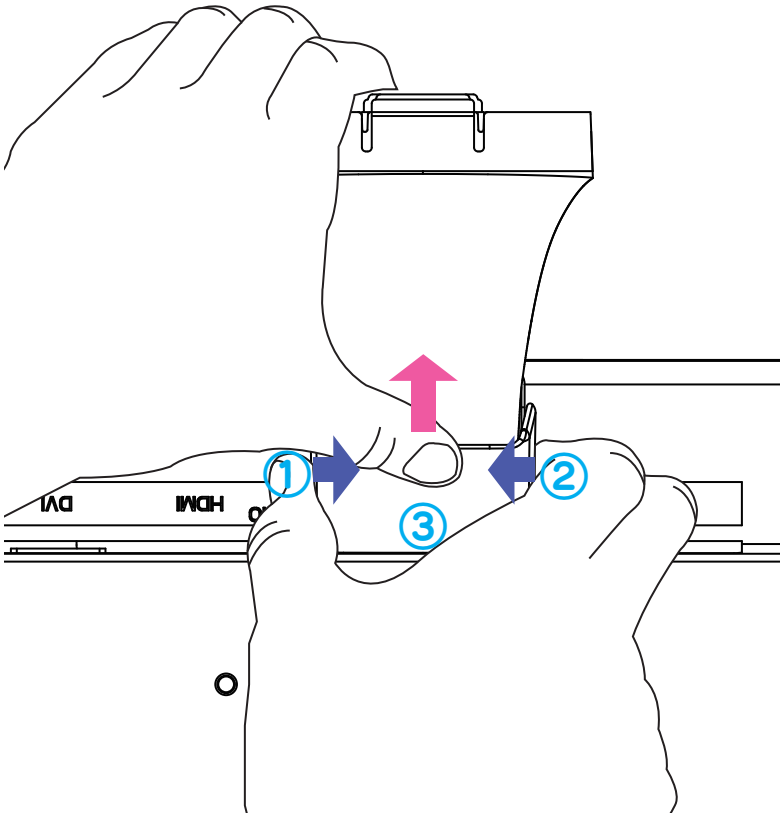
1）カバーにある３箇所ツメを確認する



2）ツメ①②をつまんで矢印（青）方向に押す

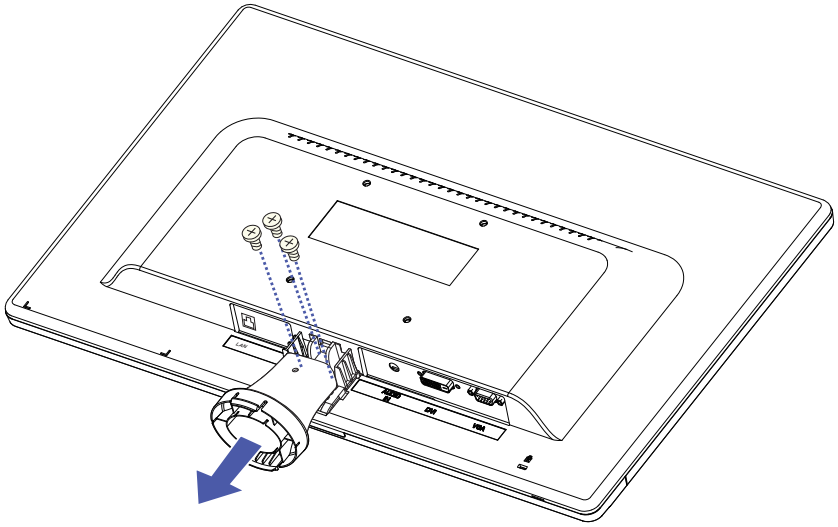
3）もう片方の手の親指でツメ③を矢印（赤）方向に押し上げる

⇒３個所の爪を外し、カバーを取り外します。



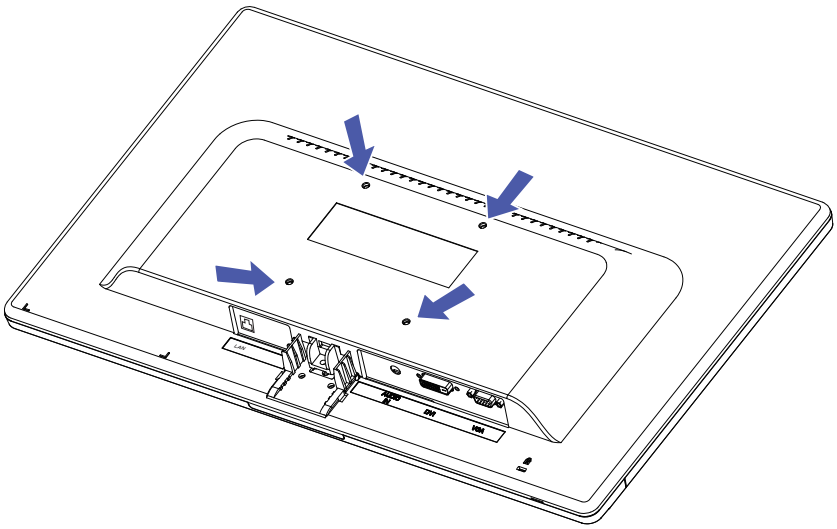
5 3 か所のネジを外し、ネックを取り外します

- 外したネジは、別途袋などに入れ、大切に保管してください。
- 再び台座を付けたい場合は、下図を参考にネックを取り付けてください。
  その際、しっかりとネジを締めてください。



6 4 か所のネジ穴を利用して、別途用意した固定器具を取り付けます

- 固定器具は本製品の質量に耐えられる 100mm ピッチのものをご用意ください。
  本製品の台座を除いた質量については、【ハードウェア仕様】（26 ページ）を
  ご覧ください。
- 固定用のネジは、「M4 × 10mm」のものをご用意ください。



以上で、VESA アームの取り付けは完了です。

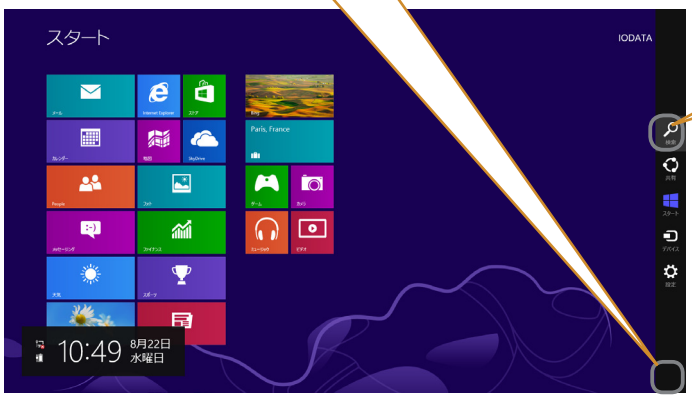
接続後の確認

本製品はプラグアンドプレイ対応モニターとして、パソコンに接続すれば、特別な設定をすることなくお使いいただけます。
念のためパソコンに接続した後に、本製品のモニター情報が正しく認識されているか、確認することをおすすめします。
モニター情報を確認する手順は以下です。

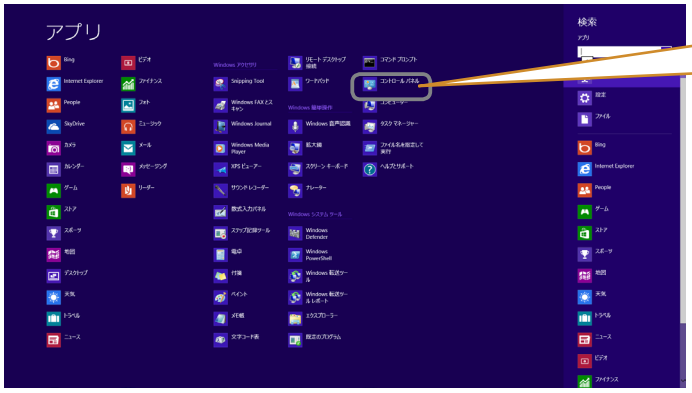
● Windows 8 の場合（18 ページ）
● Windows 7/Vista の場合（20 ページ）
● Windows XP の場合（21 ページ）

Windows 8 の場合

❶ マウスを右下隅にポイントし、チャームを表示します



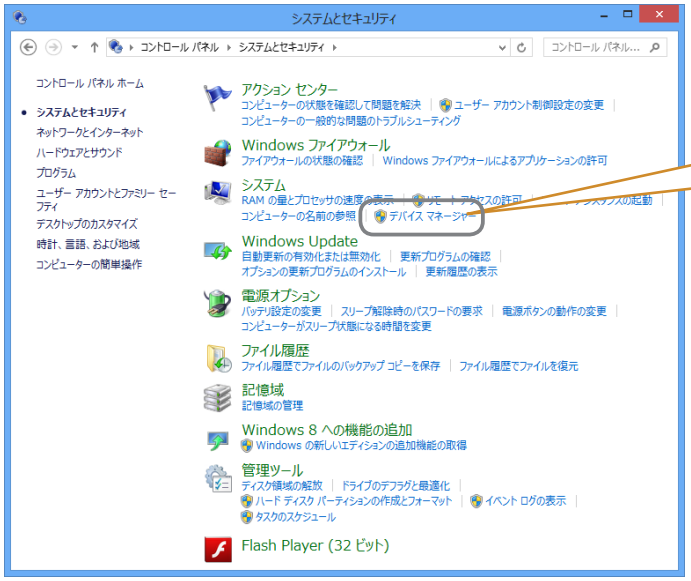
❷ [検索] をクリックします



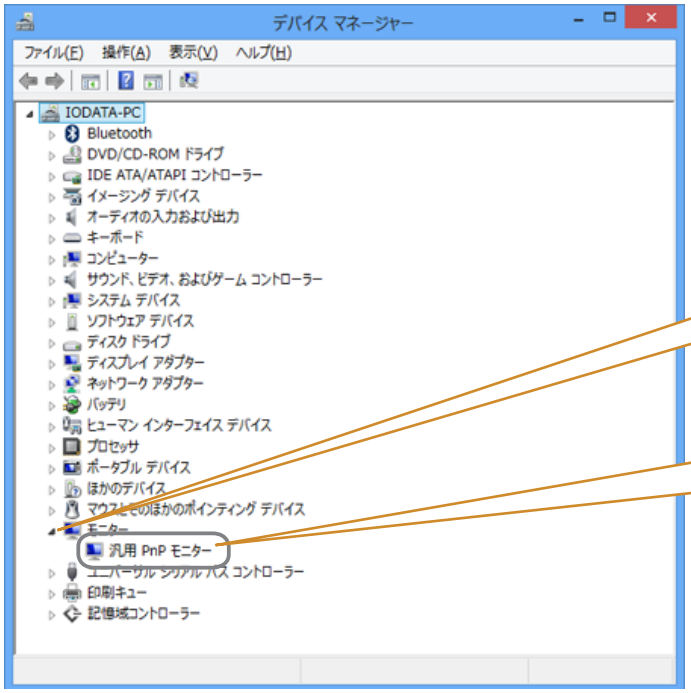
❸ [コントロールパネル] をクリックします



4 [システムとセキュリティ] をクリックします



5 [デバイスマネージャー] をクリックします



6 [モニター] をクリックします

7 [汎用 PnP モニター] と表示されていることを確認します

以上で、設定は完了です。

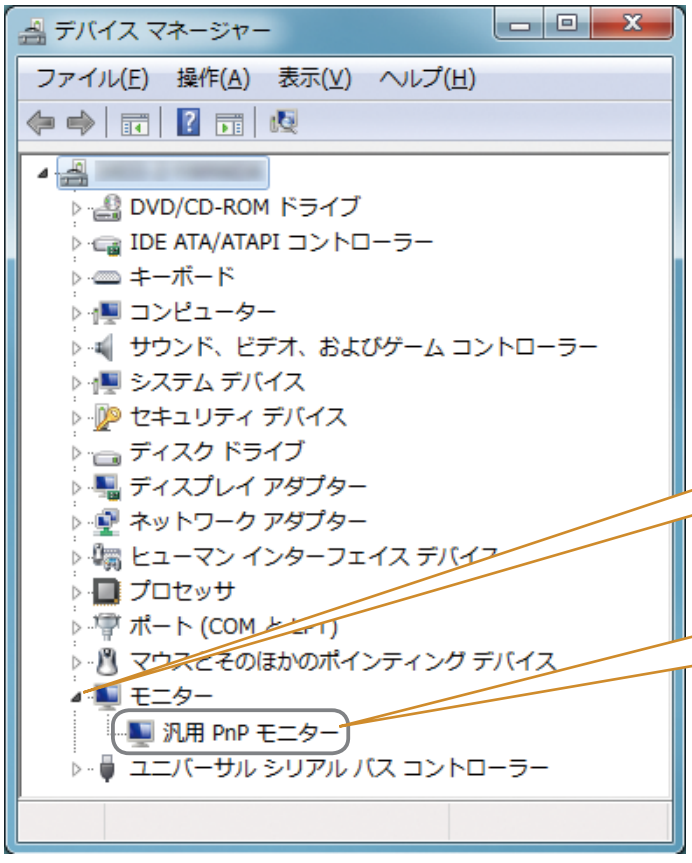
接続後の確認（つづき）

Windows 7/Vista の場合

❶ [スタート] をクリックし、[コンピュータ (ー)] を右クリックして表示された [プロパティ] をクリックします

❷ [デバイスマネージャ (ー)] をクリックします
※ Vista の場合、管理者としてログインしている場合は、[続行] ボタンをクリックします。
管理者としてログインしていない場合は、管理者のパスワードを入力して [OK] を選択します。





❸ [モニタ (ー)] をクリックします

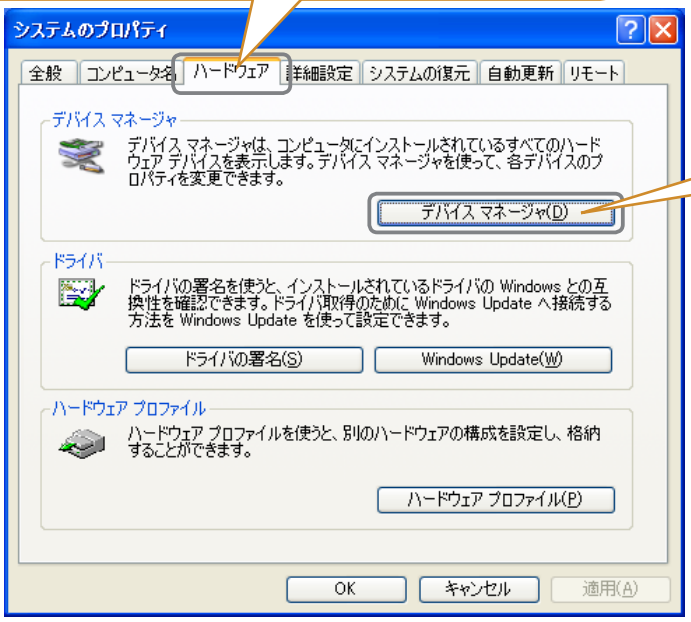
❹ [汎用 PnP モニタ (ー)] と表示されていることを確認します

以上で、設定は完了です。

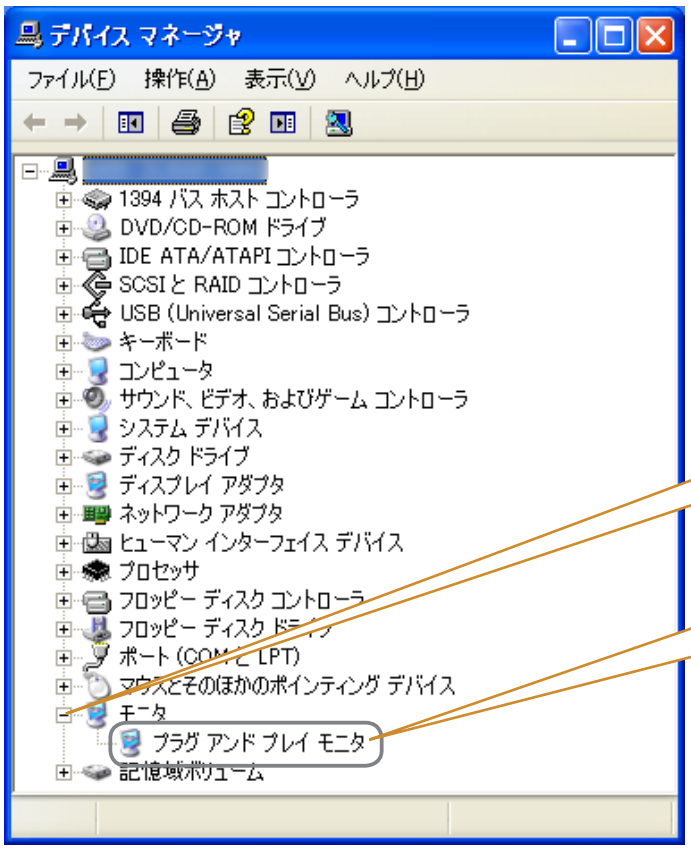
Windows XP の場合

❶ [スタート] をクリックし、[マイコンピュータ] を右クリックして表示された [プロパティ] をクリックします

❷ [ハードウェアタブ] をクリックします



❸ [デバイスマネージャ] をクリックします



❹ [モニタ] をクリックします

❺ [プラグ アンド プレイ モニタ] と表示されていることを確認します

以上で、設定は完了です。

省電力設定

パソコンの設定

パソコンの省電力モードを働かせるためには、お使いの Windows にあった設定をおこなってください。

> **注意** **省電力モードを働かせるためには、グラフィックアクセラレータボードが VESA DPM 規格に対応している必要があります**

設定方法は以下です。
※お使いの OS によって手順が異なります。

Windows 8/7 の場合

1 デスクトップ（壁紙）上で右クリックし、表示された [個人設定] をクリックします

> **ヒント** **Windows 8 の場合**
>
> 1）スタート画面を表示している場合は、[デスクトップ] アイコンをクリックし、デスクトップ画面に切り替えます。
> 2）デスクトップ画面の任意の場所で右クリックし、表示された [個人設定] をクリックします。

2 [スクリーンセーバー] →［ 電源設定の変更] の順にクリックします

3 [バランス] か [省電力] を選び、その横の [プラン設定の変更] をクリックします

4 [ディスプレイの電源を切る] で省電力になるまでの時間を設定します

5 [変更の保存] をクリックします

以上で、設定は完了です。

Windows Vista の場合

1. デスクトップ（壁紙）上で右クリックし、表示された [個人設定] をクリックします
2. [スクリーンセーバー] → [電源設定の変更] の順にクリックします
3. [お気に入りプラン] の [プラン設定変更] をクリックします
4. [ディスプレイの電源を切る] で省電力になるまでの時間を設定します

以上で、設定は完了です。

Windows XP の場合

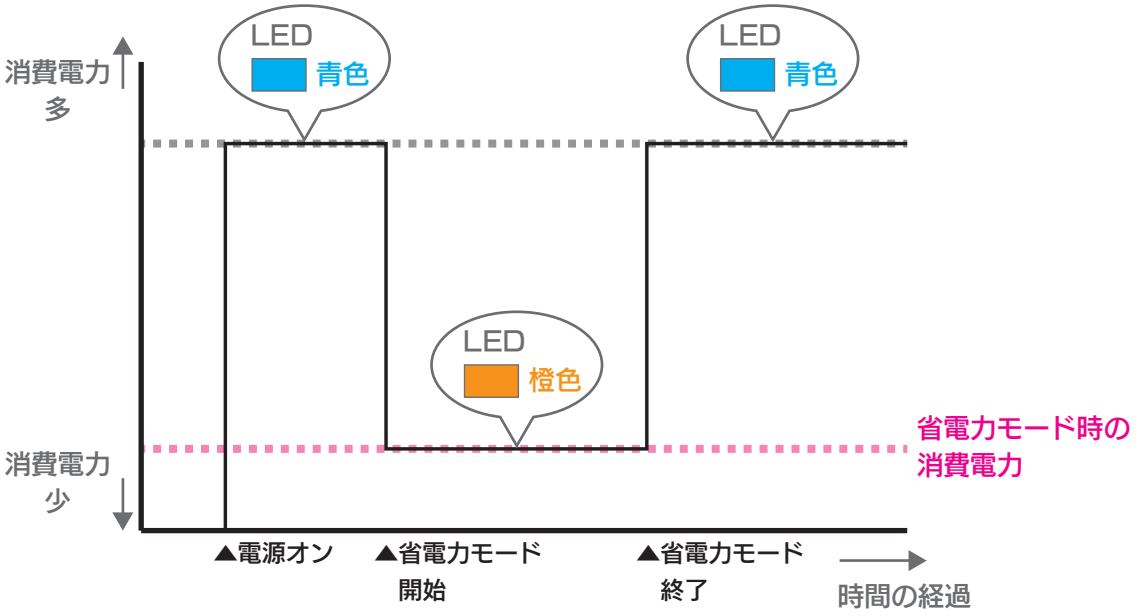
1. デスクトップ（壁紙）上で右クリックし、表示された [プロパティ]をクリックします
2. [スクリーンセーバー] タブ→ [電源] スイッチの順にクリックします
3. [電源設定] タブの [モニタの電源を切る] で、省電力になるまでの時間を設定します

以上で、設定は完了です。

省電力設定（つづき）

VESA DPM 対応のディスプレイ省電力の流れ

グラフィックボードから出力される信号の変化をディスプレイが検出して、省電力モードに移行したり、復帰したりします。



ヒント

省電力モードとは

一定時間パソコンを操作しなかった場合やパソコンの電源を切った場合に、自動的にディスプレイの消費電力を抑える機能のことです。
省電力モード時は画面は真暗になります。

困ったときには

「ゆらぎ」や「ちらつき」が見えるときは

アナログ入力で画面の「ゆらぎ」や「ちらつき」が見えるときは、**自動調整**をおこなうことにより、改善できます。

INPUT ボタンを 3 秒ほど押し続けてください。

ヒント

画面の状態によって、自動調整機能では正しく調整できず、「ゆらぎ」や「ちらつき」が、なおらない場合があります

次の手順をおこない、解決できるかお試しください。

①液晶ディスプレイをよく見ると画面端に表示できない領域（黒い部分）があります。
この領域からはみ出さないように、「手動調整」の「サイズ」、「水平位置」、「垂直位置」にて、画面の表示幅と表示位置を調整します。
⇒【メインメニュー】の [手動調整]（12 ページ）をご参照ください。

②上記にて解決しなかった場合、「手動調整」の「微調整」にて、鮮明度（ノイズ除去）を調整します。
⇒【メインメニュー】の [手動調整]（12 ページ）をご参照ください。

文字がにじんで見えるときは

ご利用用途に差し支えない限り、液晶ディスプレイの最大表示解像度（ハードウェア仕様ページにてご確認ください）に応じた数値で、パソコン側の設定をおこなうことを、強くおすすめいたします。これにより、文字のにじみを軽減することができます。

ヒント

にじみの原因

パソコン側で設定している解像度が、液晶ディスプレイの最大表示解像度よりも低い場合、文字が拡大して表示されます。拡大されることで、文字がにじんで見えることがあります。

特に、双方の解像度の縦横の比率が異なるとき（例：1280x1024 と 1024x768 では、縦横の比率が異なります）、円の図形等を表示したときなど、にじみがひどく、ゆがんで見えることがあります。

その他の問い合わせ

弊社ホームページをご覧ください。

サポート Web ページには、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

⇒ http://www.iodata.jp/support/

ハードウェア仕様

ヒント

表示面上に滅点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある場合があります

これは、液晶パネル自体が 99.999%以上の有効画素と 0.001%未満の画素欠けや輝点をもつことによるものです。
故障あるいは不良ではありません。修理交換の対象とはなりませんので、予めご了承ください。

液晶パネル	パネルタイプ	TFT 21.5 型ワイド 白色 LED 非光沢パネル
	最大表示解像度	1920 × 1080
	画素ピッチ (mm)	0.24825 (H) × 0.24825 (V)
	表示面積 (mm)	476.64 (H) × 268.11 (V)
	最大表示色	1677 万色
	視野角度	上下:160° 左右:170°
	最大輝度	250cd/㎡
	コントラスト	1000:1
	応答速度	5ms
水平走査周波数 (kHz)		24.8 ～ 82.0
垂直走査周波数 (Hz)		56.3 ～ 75.0
映像入力端子		アナログ RGB DVI-D (HDCP 対応)
音声入出力	音声入力	ステレオミニジャック φ 3.5
	スピーカー	1W+1W (ステレオ)
	フォン端子	―
定格電圧		[UPOE、PoE +]DC 42.5V ～ 57V
電源供給		UPOE : RJ-45 コネクタ PoE+ (IEEE802.3at[Type2]) : RJ-45 コネクタ ※カテゴリ 5e 以上の LAN ケーブルをご使用ください。 ※直流電源専用です。交流電源 (AC コンセント) ではご利用いただけません。
消費電力	最大時	25W
	通常使用時 (オンモード)	19.0W
	待機時	2.8W
パワーマネージメント		VESA DPM 互換
プラグ&プレイ		VESA DDC2B
チルト角 / スイベル角		上:20° 下:0° / ―
高さ調整		―
VESA マウントインターフェイス		○ (100mm ピッチ)
盗難防止用ホール		○
外形寸法 (W × D × H)	台座あり	507 × 178 × 390mm
	台座なし	507 × 49 × 321mm
質量	台座あり	3.5kg
	台座なし	3.2kg

梱包時質量（kg）/ 寸法（W × D × H）	4.6kg / 562 × 110 × 458mm
使用温度条件	0℃～ 40℃
使用湿度条件	20%～ 80%（結露なきこと）
各種規格	VCCI Class B UL J-Moss グリーンマーク RoHS 指令準拠
添付品	アナログ RGB ケーブル（1.5m） DVI-D ケーブル（1.5m） オーディオケーブル（1.5m）

対応信号タイミング

対応パソコン		表示モード	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	アナログ	デジタル
	Windows 搭載パソコン	720 × 400	31.5	70.1	○	○
Apple Macintosh シリーズ		640 × 480	31.5	59.9	○	○
			37.9	72.8	○	○
			37.5	75	○	○
		800 × 600	35.2	56.3	○	○
			37.9	60.3	○	○
			46.9	75	○	○
			48.1	72.2	○	○
		1024 × 768	48.4	60	○	○
			56.5	70.1	○	○
			60	75	○	○
		1280 × 1024	64	60	○	○
			80	75	○	○
		1920 × 1080	67.5	60	○	○
		640 × 480	35	66.7	○	—
		832 × 624	49.7	74.5	○	—
		1024 × 768	60.2	74.9	○	—

※接続されるパソコンが上記解像度に対応していることをご確認ください。

ヒント

○ PC からの信号は全てノンインタレースである必要があります。
○ Apple Macintosh シリーズでアナログ接続ケーブルをお使いになる際には、別途市販の変換アダプターが必要になる場合があります。
○ 表示可能な解像度は接続するグラフィックボードによって異なります。
○ コンポジットシンクおよびシンクオングリーンには対応していません。
○ 1920 × 1080 以外の解像度の場合、[アスペクト比] の設定に合わせて拡大 / 縮小表示されます。

ソフトウェアのダウンロード

「LCD 調整ユーティリティ」を使うと [自動調整]（25 ページ）、[手動調整]（12 ページ）をより効果的におこなうことができます。

<ダウンロード方法>

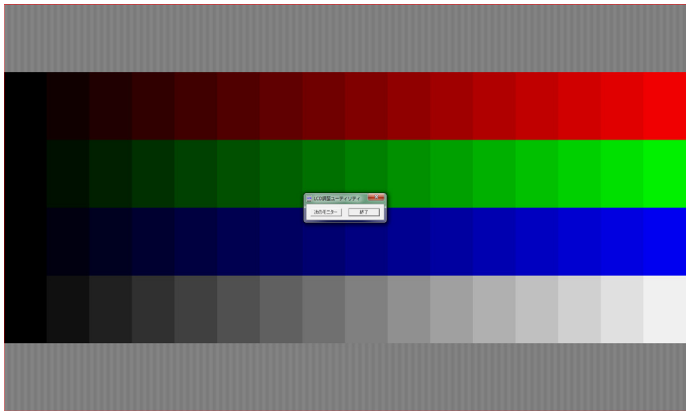
1 以下の弊社ホームページを開きます
⇒ http://www.iodata.jp/lib/product/l/4157.htm

2 ご利用の OS を選択して、ダウンロードします

<実行方法>

1 ダウンロードした「LCDTOOL.EXE」ファイルをダブルクリックします

2 以下の画面が表示されます
※マルチディスプレイ環境の場合、[次のモニター] ボタンをクリックできます。
本製品のディスプレイ上に以下の画面を表示してください。



3 本製品に上の画面が表示された状態で、INPUT ボタンを長押しするなどし、調整します

ヒント

[自動調整]（25 ページ）および [手動調整]（12 ページ）の [サイズ / 微調整 / 水平位置 / 垂直位置] は、アナログ入力時のみ有効です

用語解説

液晶ディスプレイに関する一般的な用語を解説します。

※本製品に搭載していない機能も記載しています。

CEC	「Consumer Electronics Control」の略。 HDMI ケーブルでつながれた機器同士を操作するための規格。テレビと DVD プレーヤーをつないだ場合、テレビのリモコンで映像の再生などをできるようになります。 CEC 対応機器間であっても、「メーカー独自コマンド」が存在するため、予期したとおりの動作がおこなわれない場合があります。 ※本製品は、CEC には対応していません。
DDC/CI	「Display Data Channel Command Interface」の略。 パソコンから液晶ディスプレイなどをコントロールするための VESA（Video Electronics Standards Association）規格。従来のアナログ・デジタルケーブルに組み込まれ、液晶ディスプレイとパソコンの間のプラグアンドプレイ機能に使用されていた DDC 信号線を使って、特定のコントロールコマンドを送ることにより表示装置を操作することが可能となります。
DPM	「Display Power Management」の略。 VESA（Video Electronics Standards Association）が策定した、ディスプレイの節電機構をパソコン本体側から制御するための規格。省電力機能は、ディスプレイの水平／垂直同期信号を制御することで省電力モードに入ったり復帰したりします。
HDMI リンク	⇒ CEC
OSD	「On Screen Display」の略。 ディスプレイの設定画面を画面の一部に表示して操作する機能。 本製品では、OSD を使っていろいろな調整をおこなうことができます。
sRGB	液晶ディスプレイやパソコンでは [RGB]、プリンターなどのカラー印刷では [CMYK] という方式でそれぞれ色を表現していますが、色によっては両者で違って見えることがあります。このような問題に対処するため、両者での色がほぼ同じになるような方式として考案された国際規格です。 ［sRGB］設定は 6500K 相当です。
TFT 液晶	「Thin Film Transistor」の略。 アクティブ・マトリックス型液晶の一種。 液晶画面の各ドットは、薄膜トランジスタ (TFT) で制御します。 現状、他の液晶技術（STN,DSTN など）に比べ、品質面では最も優れています。
色温度	9300K の発色は鮮やかですがやや青白く感じられます。 6500K は昼光色とも呼ばれ自然な白色が表現できる設定となります。 7200K はこれらの中間の設定となります。
スケーリング	液晶パネルは最適に表示できる解像度が決まっています（表示に最適な解像度は【ハードウェア仕様】（26 ページ）内の『最大表示解像度』の項目を参照してください）。 パソコンから入力される映像信号が表示に最適な解像度でない場合、画像を液晶画面全体に表示させるために、液晶ディスプレイによって拡大処理（スケーリング）がおこなわれます。スケーリングがおこなわれることにより、画面に表示されている映像の輪郭が、かくばったりぼやけたりして見えます（スケーリングがおこなわれていないと、液晶画面全体に画像が表示されません）。
スムージング	スケーリングによって発生する、輪郭のギザギザを、なめらかに表示するための設定です。
走査線周波数	ディスプレイはドットの集まりです。ブラウン管のディスプレイでは、左上から右下に向かって電子ビームで必要なドットを光らせて画像を表示しています。 「走査する」とは、電子ビームが動く、つまり画像が表示されるという意味です。 走査周波数とは、ちょうど電子ビームの動く速さを示す「メトロノーム」のようなもので、走査周波数が高いほど電子ビームが速く動く、つまり画像表示が速いということになります。 走査周波数を低くすると画面のチラツキが目立つようになります。 逆に走査周波数を高くすると画面のチラツキは目立たなくなります。
ドット	文字や図形を表現する基本単位となる点のこと。ピクセルとも呼ばれます。 パソコンで扱う文字や図形は、このドットの集まりで表現されます。
UPOE	「Universal Power over Ethernet」の略。 シスコシステムズ社独自に提唱している、LAN ケーブル経由で最大 60W を受電機器に供給可能な規格。 本規格対応ディスプレイでは、電源ケーブルでコンセントとつなぐ代わりに、本規格対応ネットワーク機器から LAN ケーブルで接続し電源を供給します。
PoE+ (IEEE 802.3at)	「Power over Ethernet plus」の略。 IEEE802.3at として標準化された、LAN ケーブル経由で最大 30W を受電機器に供給可能な規格。 本規格対応ディスプレイでは、電源ケーブルでコンセントとつなぐ代わりに、本規格対応ネットワーク機器から LAN ケーブルで接続し電源を供給します。

進化する明日へ Continue thinking

株式会社 アイ・オー・データ機器
ホームページ　http://www.iodata.jp/